



## 校長室だより

2025年4月7日  
丹波市立進修小学校  
校長 松田 垂矢

### ご入学・ご進級おめでとうございます

令和7年度がスタートしました。お子様のご進級、ご入学おめでとうございます。久しぶりの子どもたちの登校を待ちわびていたかのように、校庭の桜やチューリップ、パンジーの花々が満開となりました。本年度もこの進修小学校を、保護者の皆様、地域の皆様とともに子どもたちの笑顔がいっぱいの学校にしていきたいと考えています。どうぞ変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いします。

#### 【学校教育目標】

『ふるさとを誇りに思い 人とかわりながら 自ら考え行動する児童の育成』  
～ 自律・挑戦・つながり ～

### 進修小学校が取り組む教育課程について

昨今、子どもたちが生きる現在は、「VUCA（ブーカ）な時代」と呼ばれています。予測困難で不確実、複雑であいまいな状態を示します。

昨年度は、そんな時代を生きていく子どもたちに必要な力を育むために、どんな力を子どもたちにつけるべきか、教職員で話し合い、取り組んできました。「子どもが主体の学校」となる授業、子どもが主体的に動ける行事となるために、何が最善の方法なのかを考えてきました。でも学校だけで子どもたちに力をつけることはできません。地域・保護者の方と共に情報共有しながら模索しています。学校評価アンケート、学校運営協議会の方々や家庭・地域の皆様の言葉に耳を傾けながら、本年度取り組んだことを振り返り、来年度の方角性を検討しました。

そこで、「**教科担任制**」と「**チーム担任制**」を実施することとなりました。

現在の教育は、今までの日本の教育の良いところを残しながら、令和の日本型学校教育への授業改善が求められています。

令和4年度の4月から全国の小学校で「小学校高学年の教科担任制」が始まっています。中学校のように教科ごとに教える先生が変わるシステムのことです。国が定める「小学校高学年の教科担任制」はすでに兵庫県では平成21年度から「兵庫型教科担任制」として始まっています。

本校でも昨年度、5、6年生で、社会、外国語、家庭科、理科、音楽、図工、書写で教科ごとに授業交換をしています。これは、「複数教師による多面的な児童理解を通じた児童の心の安定に資する」ことが目的の一つです。ただ、本校は児童数が少なく、現在すべての学年が単学級です。5、6年生の教科担任制だけではこの効果が期待できないと考えます。そこで、学年の幅をさらに広げて、1、2年、3、4年生でも教科担任制を実施します。そうすることで、担任一人だけでなく複数の教師の目で子どもたちを見守ることができ、多面的な児童理解に近づくと考えます。

さらに、1学期から少しずつ「チーム担任制」に取り組めます。チーム担任制とは、学級の担任を1人に固定せず、1週間から1か月の単位で担任が交代するシステムです。

担任一人で子どもを見るのではなく、複数の教師で子どもたちを支援していく体制です。また、子どもたちにとってもより多くの大人との出会いがあり、相談しやすい先生に相談することができます。「チーム担任制」なら複数の教師による多面的な子どもの理解を通じた子どもの心の安定に資すると考えます。ですが、新しい取り組みに保護者の皆様や子どもたちが不安にならないように一緒に考えていただきながら進めていきたいと思っています。どうぞご理解のほどよろしくお願いします。

詳細については、**4月26日(土)の授業参観後の学年懇談会の前に説明会**を持たせていただきます。そこまでの4月の1か月は、保護者配布の手紙に示す教師がメインとなって、学級づくりをしたり、家庭訪問をしたりするなどの保護者の皆様の対応にあたります。

何かお聞きになりたいことがありましたら、校長（松田）までご連絡ください。

ホームページについても随時更新していますのでご覧下さい。